

SID R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第2巻第16号

第16週(4月15日～4月21日)

発行年月日:平成14年(2002年)4月26日

発行:滋賀県立衛生環境センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

1) 全数報告の感染症(1類～4類)

感染症類型	疾患名	報告数 (16週)	累積報告数 (1週～16週)	平成13年 報告数
1類感染症	報告なし	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	4	4
	パラチフス	0	1	0
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	1	1	44
4類感染症	アメーバ赤痢	0	3	5
	急性ウイルス性肝炎	0	0	2
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	2
	後天性免疫不全症候群	0	1	6
	ジアルジア症	0	0	1
	ツツガムシ病	0	0	2
	梅毒	0	2	6
	レジオネラ症	0	0	1

2) 定点把握の対象となる4類感染症

疾患名	定点当たり患者数		
	16週	増減	10週～15週
インフルエンザ	0.79		2.85
咽頭結膜熱	0		0.01
A群溶連菌咽頭炎	0.25		0.34
感染性胃腸炎	4.34		4.60
水痘	2.16		2.17
手足口病	0		0.10
伝染性紅斑	0.38		0.46
突発性発疹	0.91		0.47
百日咳	0		0
風疹	0		0.01
ヘルパンギーナ	0.03		0.01
麻疹	0		0.07
流行性耳下腺炎	1.09		0.90
急性出血性結膜炎	0.14		0
流行性角結膜炎	0.43		0.31
急性脳炎	0		0
細菌性髄膜炎	0		0
無菌性髄膜炎	0		0.07
マイコプラズマ肺炎	0		0.22
クラミジア肺炎	0		0
成人麻疹	0		0

* 増減は、平成14年10週～15週の平均に対する今週との比較
増加 減少 変化なし

* 太字は、今週の注目される疾患です。

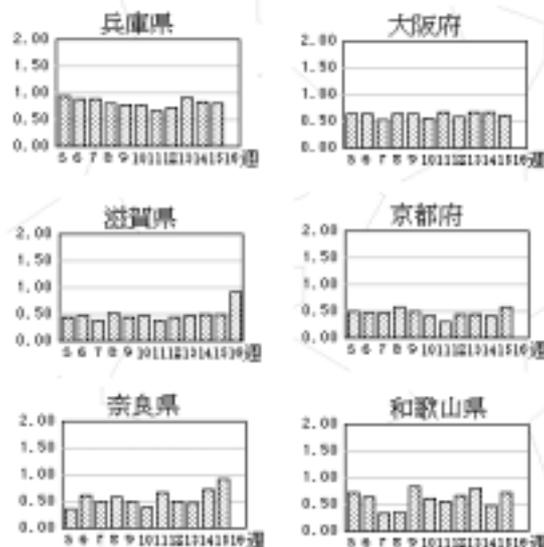
全国集計などの詳細な集計結果は、**国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ**において公表されています。
(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)

3) 今週のトピックス

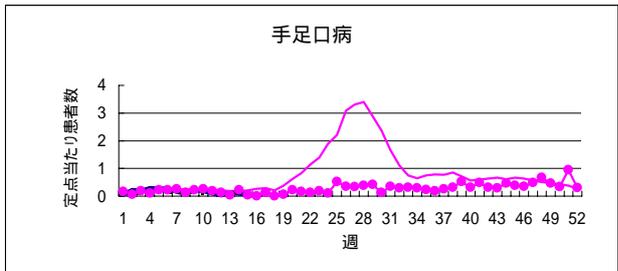
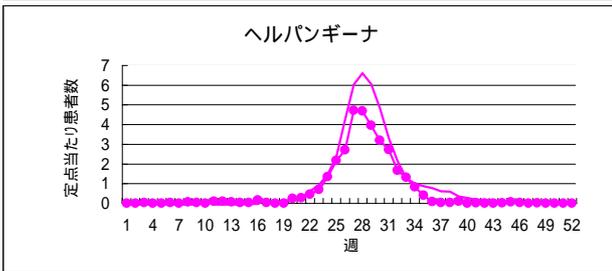
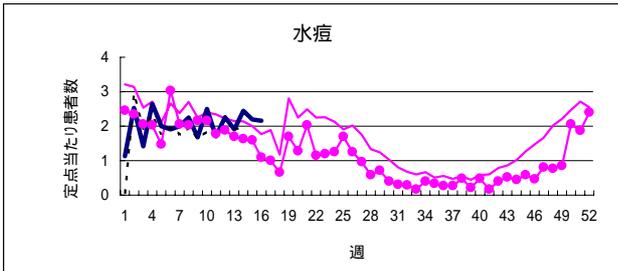
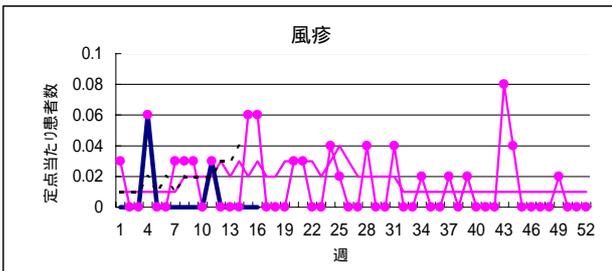
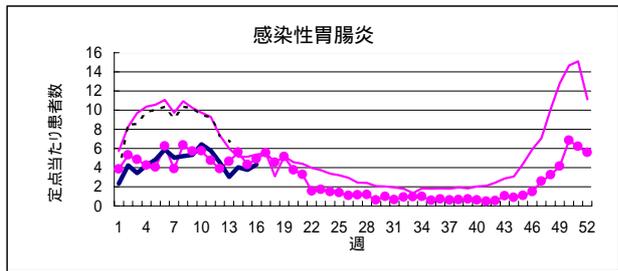
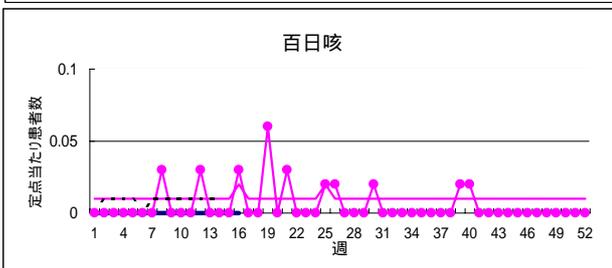
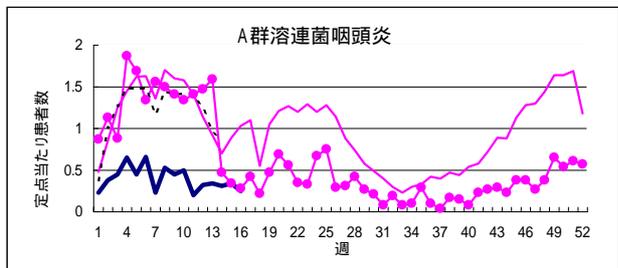
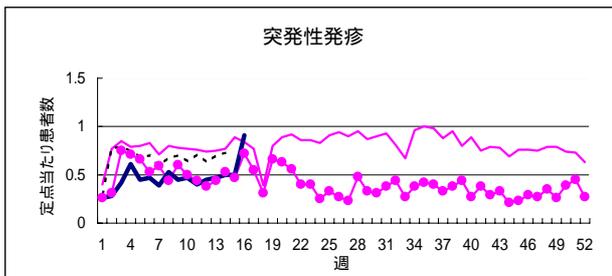
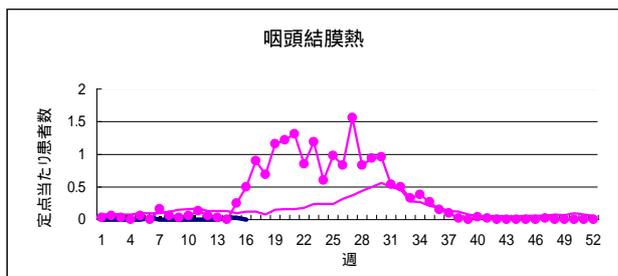
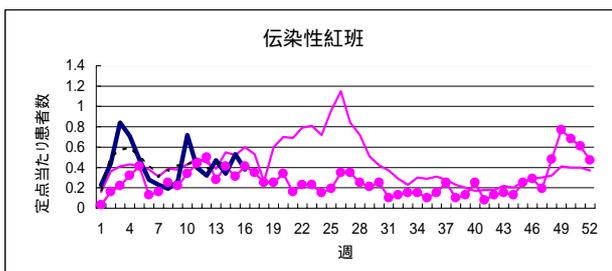
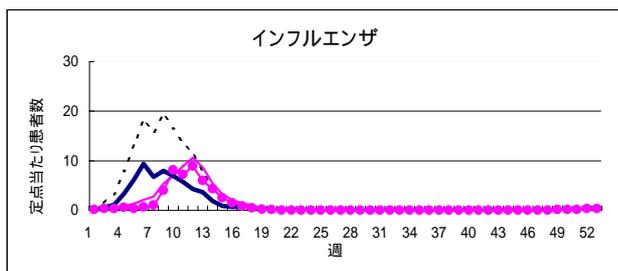
腸管出血性大腸菌感染症(O157)患者の発生 -4月17日、公表- 突発性発疹の増加が顕著

滋賀県における定点当たり患者数について、平成14年10週～15週の平均と平成14年の16週を比較すると、突発性発疹、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎等に増加傾向が見られます。また、**平成14年の県内における腸管出血性大腸菌感染症(O157)患者の発生は、今回が最初です。**今後、発生に対する十分な注意が必要です。

突発性発疹の保健所別定点当たり患者数は、草津保健所管内が1.67、長浜保健所管内が1.50で他の保健所管内よりも報告数が多くなっています。また、近畿圏内の他府県における5～15週の発生状況は、下記のグラフのとおりです。

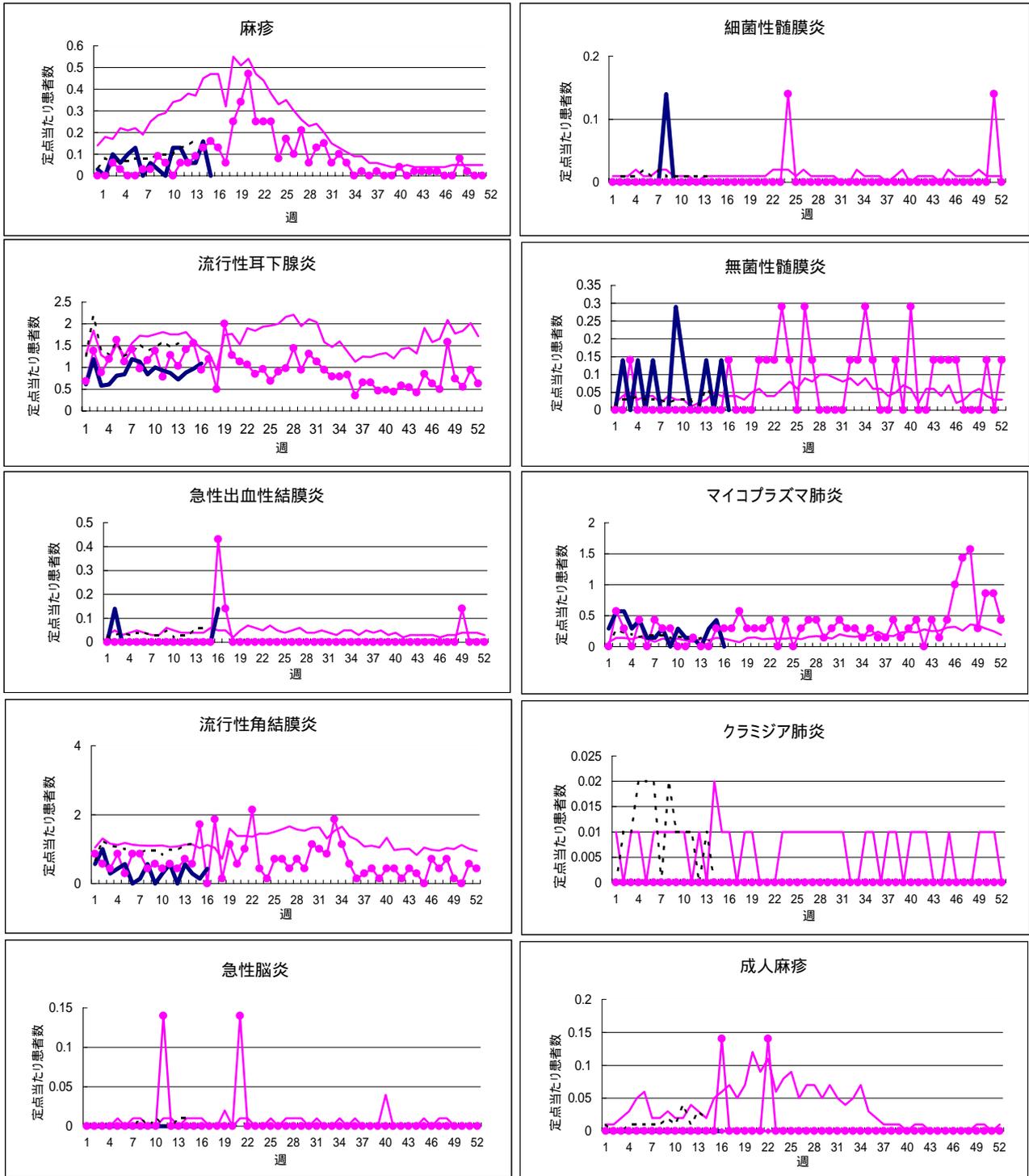


疾病別定点当たり患者数(平成14年第1週～第16週)



H13 { 滋賀 ●——●
 { 全国 ————
 H14 { 滋賀 ————
 { 全国 - - - - -

疾病別定点当たり患者数(平成14年第1週～第16週)



H13 { 滋賀 ●——●
 { 全国 ————
 H14 { 滋賀 ————
 { 全国 - - - - -